

かがやき通信

八千代市議会議員

山口いさむ



文教経済常任副委員長、都市計画審議会委員
会派 新未来 代表、立憲民主党千葉県第2区総支部 副幹事長
<https://www.y-isamu.com>



八千代市政は服部市政2期目としての初の本格当初予算が編成され、令和4年3月定例市議会にて可決成立をしました。一方で議会として子どもの医療費助成を現行の中学生までから18歳まで引き上げるよう行政に対して発議（経済的負担の大きい入院を対象）を行い、山口いさむも会派代表者として発議提出賛成者として署名、全会一致で可決をさせました。今後も市民の生活の中にある不安を取り除く市政を目指して全力を尽くします。

また本年12月には八千代市議会議員選挙が予定されています。山口いさむも5期目の再選を目指し、全力を尽くします！今後ともさらなるご支援をよろしくお願いいたします。

旧八千代台東二小跡地における市民広場の建設がいよいよ始まります！

山口いさむは長年、地域の課題である旧八千代台東二小跡地の利活用について、議会一般質問で度々取り上げてきました。地元をはじめ多くの市民のご意見を形にするべく、防災機能を備えた市民広場としての整備が進められることとなりますが、今般の令和4年度当初予算において、この施設の1次整備として駐車場や防災トイレ、ドックランなどの整備費が計上されました。令和4年度中に建設・供用開始をすることになります。今後、2次整備についても、山口いさむは地元などの市民の声が反映されるよう取り組んでいきます！



旧八千代台東二小跡地は防災機能を備えた市民広場へ赤線部分が1次整備の箇所

気候危機対策、ゼロカーボンシティへ！

自然災害の多発を招いている地球温暖化による気候危機は、世界各国で取り組まなければならない最も重要な喫緊の課題です。そのような状況下で国の方針が示される中、八千代市においても令和3年3月に服部市長による脱炭素社会に向けた2050年ゼロカーボンシティ宣言が出されたわけですが、その進捗は遅々として進んでいない状況にあります。山口いさむは、この問題に対して頻りに一般質問で取り上げ、ゼロカーボン達成のための具体的な提案を行ってきました。令和3年12月議会では庁内の脱炭素への推進組織、八千代市環境問題連絡会議が機能していないことを指摘し、その上で公用車の電気化や新庁舎建設について脱炭素型建築物(ZEB)を採用するよう求め、市もそのような方針を採用することとなりました。また令和4年3月議会では、2050年から逆算した年次目標や進行管理と言ったゼロカーボンへの具体的なロードマップを示したゼロカーボンシティ・マスタープラン作成を訴え、市もその必要性を認め、策定の方針で取り組むとしています。今後も山口いさむは、気候危機対策に全力を尽くします！



気候危機対策は世界的急務！
2019年、台風19号と竜巻による被害

未来の八千代市の都市像を大きく影響する都市マスタープラン

現在八千代市では、令和5年開始の都市マスタープラン（通称都市マス）の策定が行われています。このプランは20年間に及ぶ長期計画であり、その内容が将来の本市グランドデザインや都市像を大きく影響し決定づけることとなります。それゆえ以前より①「自然災害から守られる安心安全な街づくりにつながる土地利用」や人口減少時代でも充実した福祉サービスの維持・発展を担保する、②「安定した税収確保につながる土地利用」の必要性を訴え、このプランに反映させるよう度々議会でも取り上げてきました。令和4年3月定例議会の一般質問では、今般発表されたこの都市マスの前半部分である全体構想について、**山口いさむ**がこれまで議会で提案してきたことがどのように取り入れられているかについて質問しました。



駅前商業活性化のために土地利用の規制の見直しが必要！

① 「自然災害から守られる安心安全な街づくりにつながる土地利用」について

「自然災害から守られる安心安全な街づくりにつながる土地利用」について **山口いさむ**はこれまで国交省の策定した「都市構造の評価に関するハンドブック」を用いて本市の地勢的強みと弱みである自然災害時の脆弱性を分析すること、また改正都市再生特別措置法の「安全で魅力的なまちづくり」に関する内容を紹介し、安全な街づくりに関する事項などを次期都市マスに反映するよう要請してきました。さらに次期都市マスが「八千代市国土強靱化計画」やハザードマップなどの情報を土地利用戦略に活かし、「災害リスクの高いエリアにおける立地の抑制」などについて次期都市マスに反映するよう要望してきました。今般の執行部からの答弁では、都市再生特別措置法の改正や国・県の治水対策を踏まえ、さらに「八千代市国土強靱化計画」など関連計画との調整を行い、地震や土砂災害などの災害リスクへの対応方針を次期都市マスの全体構想に掲げている旨の答弁を得ました。



「災害リスクの高いエリアにおける立地の抑制」方針を次期都市マスに！

② 「安定した税収確保につながる土地利用」の促進について

「安定した税収確保につながる土地利用」の促進については、特に本市においては今後企業などの法人からの税収比率向上を目指すことが重要であり、そのことが人口減少社会においても市民サービスの維持・向上にとって不可欠であるとの立場から、これまで主に以下の3つの事項について取り上げ、それぞれに具体的な提案を行ってきました。



国道16号線沿線などに物流倉庫などの企業を誘導する土地利用戦略により安定的税収確保につなげる！

- ① 「工業団地の製造業などの良好な操業環境保全につながる土地利用」
- ② 「新たな産業誘導・企業誘致につながる土地利用」
- ③ 「商業活性化などにつながる京成線沿線の駅周辺の再開発等を含めた土地の高度利用」

今般の次期都市マスの全体構想にかかる質問答弁では、例えば「新たな産業誘導・企業誘致につながる土地利用」に関して国道16号線沿線に大規模物流倉庫等の誘導を図ることや「商業活性化などにつながる京成線沿線の駅周辺の再開発等を含めた土地の高度利用」について、駅周辺の個性を活かした商業・業務地活性化の方針を掲げるなど、**山口いさむ**のこれまでの要請が反映されていることが確認されました。

今後、次期都市マスタープランは、いよいよ後半部分の具体的な地域やエリアの計画策定に入っていきます。今後とも**山口いさむ**は安心安全で豊かな八千代市の将来都市像に向けて具体的な提案を行っていきます。

誰も取り残されない政治を目指す！

山口いさむ後援会

〒276-0032 八千代市八千代台東1-7-2

TEL:047-485-3833 FAX:047-485-8884 mail: isamu@w6.dion.ne.jp